



WASLI

World Association of
Sign Language Interpreters

ニュースレター2023年12月号



2023年7月の総会以来、ニュースレターを発行していなかった。新理事会は今後4年間効果的に共同作業が進められるように新チームを作成すること、私たちが7月総会で話し合う時間がなかった要件を話終えるための臨時総会を調整することに多くの力を注いできた。

このニュースレターを利用して新理事会の面々を紹介し、2024年のWASLI総会でともに作業を進める今後の可能性について発表する。（横のコラムを参照のこと）

WASLI総会及び臨時総会

7月、12月

総会

2023年7月WASLI総会(GA)が無事開催された。これまでの総会は対面のみで開催されていたが、今回のハイブリッド・ミーティングではZoomを使用した。コメントと投票はmentimeter（訳注：リアルタイムでアンケートを実施し、集計できるサービス）を使用した。総会では、新規国会員、新執行部、地域代表代表の選出を含む、ほとんどの議事を終えることができた。

総会では、今年度の残りの議事を決定するため臨時総会(EM)を開催することを決議した。

2023年から2027年理事会

以下は理事会各役職に選出された方々である。理事会は2つのグループで構成されていて、WASLIの日々の運営に責任を持つ理事会と地域の活動と地域から理事会への明確な通信ラインを確保することに責任を持つ地域代表である。

執行理事

WASLI会長 クリストファー・ストーン博士

クリストファーが引き続き会長を務める。私たちはスイスのジュネーブ州の要件に従っているので、能力の向上により多く集中することができる。

この任期中私たちはワーキンググループと専門家グループをより多く導入し、WASLIの仕事の能力を増やすことを目指す。

（横のコラムを参照）

今期がクリストファーの2期目であり、また最後の任期でもある。私たちがWASLIの仕事を支援するとき、また2027年から2031年の新会長への移行を支援することも視野に入れなければならない。



臨時総会

国会員（NM）が資料を再読する時間を十分に確保した上でしっかりとした議論を行い、会議の日程を短縮化できるように、11月に開催された。Zoomのウェビナーを使用し、国会員（投票権のある会員）はパネリストとして参加して投票権を行使した。その他の関係者（地域代表とサポーター）は、ZoomのウェビナーまたはYouTubeを通じてオブザーバーとして見る事ができた。

投票は、Googleフォームを通じて行われた、国会員は事務局から付与された公式メールアドレスによりフォームにアクセスが可能となる。

定款の変更

定款をスイスの法律に沿ったものにするため、以下の定款変更が可決された。

年次

- ・総会
- ・決算承認
- ・予算承認
- ・新会員についての国会員の承認
- ・総会の6ヶ月前通知
- ・議事提出は3ヶ月前

これにより国会員と理事会の間の説明責任と透明性のあるコミュニケーションが担保されるようになった。

WASLIの戦略的運営に貢献することを期待している。

WASLI副会長 クンヒー・リディア・コー博士

リディアは韓国出身である。会長と毎月会議をし、WASLIの仕事、戦略的計画および通信の明確なラインを維持することを話し合ってきた。すべての地域代表と連携し支援し、奨励し、明確な通信のラインを維持している。2027年のUAE大会を組織する会合に出席している。週に2から8時間をWASLIにささげることになる。問い合わせはお気軽に。



WASLI事務局 ティモシー・ティナット

ティモシーはナイジェリア出身で2021年からナイジェリア手話通訳者協会会長を務めてきた。WASLI事務局長としての目標はWASLIの統括と運営を支援すること。問い合わせの最初の窓口となる。



WASLI会計ジョヴァナ・ガルシア

ジョヴァナはベネズエラ出身で現在コロンビア在住である。職務はWASLIの収入と支出の管理、財政状況について毎月の報告を作成し、総会に報告すること、および理事会で求められる他の支援である。また2027年UAE大会の組織会議に出席している。毎週平均2から6時間WASLIにささげている。気軽に問い合わせを。



WASLIろう通訳アドバイザー アルナス・ブラジンスカス

アルナスは引き続きろう通訳者のアドバイザーを務める。ろう通訳者たちの連絡窓口であり、副会長とともに地域代表を支援する。ソーシャルメディアと国際手話の内容を維持しウェブサイトの連絡係である。



ワーキンググループ (WG)

WASLIにはあなたが必要です！

総会と臨時総会の後、やるべきことが多くあり、各地域の代表からなるワーキンググループを設置することが最善の方法である。ワーキンググループへの参加にご関心のある方は地域代表（RR）にご連絡を。2024年に設置する予定。

ガバナンスWG

WASLI はガバナンスに関するワーキンググループの設置を検討している。このグループは定款と WASLI の方針と手続きの検討に焦点を当てる。WASLI のガバナンスについて、国会員の条件変更を含めて検討する。

資金調達WG

WASLI は資金調達に関するワーキンググループの設置も検討している。このグループは資金調達に焦点を当てる。スポンサーシップ、広告、助成金などである。

倫理的にふさわしい形で収入を増やし、定款に述べられている目標を支援することを模索する。長期的な目標としては、スタッフの調達も望まれる。

WASLI スイス在住理事 ミシェル・ベルジェ

ミシェルは引き続き、スイス在住理事としてWASLIに貢献する。彼女はスイス当局と銀行の連絡窓口である。2023年から2024年までの彼女の主な焦点は、新しい執行理事役員によるWASLIの管理体制へのアクセスをサポートすること、そして、スイスの新しいデータ保護法を確実に遵守することである。



WASLI 名誉会長 デブラ・ラッセル博士

デブラは引き続きWASLIの名誉会長を務める。彼女はこれまでもリーダーシップトレーニングの開発と実施をサポートしており、今後も続ける。また、会長と協力し、支援と指導を提供してきた。継続性を確保するためにWFDWASLI ISAABをサポートもする。



地域代表理事 (RR)

アフリカ地域

レオニダ・ケイラは、ケニア手話通訳者協会の元会長（2012～2022年）である。過去26年間フリーランスの通訳者として活動しており、カンファレンスに特に興味を持つ。



アイシャ・ラムジュエルナスは南アフリカ出身で、組織や機関と協力して通訳者向けのトレーニングプログラムを開発し、高水準のプロフェッショナルリズムを目指して努力している。

2人のRRは地域の専門職を向上させるためのアフリカの取り組みを強化することを望む。

アラブ地域

サミール・サムリン博士は引き続きアラブ代表を務める。彼はカタールに拠点を置いているが、ヨルダンで育ち、地域をまたぎ活動を続けている。そして、アラブ地域で初めて開催される次回のWASLI会議の重要な連絡先となる。（地域代表がもう一人必要）。



大会 WG

IOCN やその他の組織団体、支援者からのフィードバックを踏まえ、WASLI はアクセシビリティをあらゆる角度から検討する会議とイベントに関する WG を設立する。

WG会議 はイベントや会議を開催する国々へのビザを含めた様々な支援を検討する。

WG大会はまた通訳やその他のアクセスについても検討を行う。

理事会に対して包括的な決定がなされるようアドバイスを行う。

ニュースレターWG

WASLI は編集者とすべての地域からの代表者が必要である。そうすることにより、世界各地からのエキサイティングなニュースを集めることができる。

ニュースレターWGは理事会のために年3回報告を集める。内容は 英語、スペイン語、IS で発行され、翻訳のプロセスを管理し、レイアウトも統一性が必要である。

編集の最終決定は、我々の覚書と方針のもと承認をえる。

Asia Region

宮澤典子氏は日本人CODAで、1991年から通訳兼指導者として働いている。全国手話通訳問題研究会（NRASLI）の副会長兼国際部長を務める。



アンソニー・チョン博士は、マレーシア手話・ろう研究協会の共同設立者であり、事務局局長でもある。彼は、さまざまなプログラムや国際キャンプ、カンファレンスの管理において幅広い経験を持つ。

川上恵氏は、ギャロデット大学で通訳の修士号を取得し卒業した。彼女は、コミュニティ通訳者、盲ろう者向け通訳者、国際手話-日本手話とアメリカ手話-日本手話の通訳者としてさまざまな場面で働いている。



アジア地域代表は、アジア地域全体と2023年の総会で合意された3つのサブ地域でのさらなる協力を期待している。

オーストララシア及びオセアニア地域

イニセ・タワケティニは美しいフィジー島の出身である。彼女はろう者の教師として働き最初の10週間の訓練コースを経て、通訳として10年以上働いてきた。現在、香港で手話言語学コースに在学し、近々修了予定である。



クリシュニア・センもフィジー出身で、最近修得したばかりの香港中文大学からの言語学の修士号のほか、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンとギャロデット大学で学位を持つ。彼はメディア内で通訳として働いている。

この地域の通訳者が他の地域と同じ機会を得ることができるようにして、知識とスキルを向上させ、地域社会により良いサービスを提供したいと考える。

バルカン地域

ニブス・ゴトヴァツは、クロアチア出身のコーダ通訳者で、最近EUMASLI修士課程を修了。クロアチアろう者のための手話通訳者協会とefslの理事を務める。



専門グループ (EG)

WASLIにはあなたが必要です！

前期において、WASLI は専門グループ(EG) を設立した。より多くの EG を設立することによって、お互いの関心や問題点を共有することができる。



ダシャ ペペルコは、スロベニアのろう通訳者で、バルカン半島の地域代表を引き続き担う。

バルカン半島地域代表はバルカン半島地域を活性化させ、WASLIでより積極的な役割を果たすことを目指している。

ISO EG

WASLIはISOに関する専門グループを続ける。

現在の長はイザベル・ヘイェリック博士である。

現在、イザベルはメンバーの見直し、新メンバーの募集をしている。ニュースレターの最後を参照のこと。



ケン ゴールストンは、全ロシアろう者協会モスクワ教育・方法センターのエキスパートである。(2021年-現在) 主な仕事は、新技術の開発でビデオリレーサービスに力を入れている。

EECAC地域代表は、この地域の今後の能力強化に期待している。

ヨーロッパ地域

教育 EG

WASLI はより高等教育として通訳者教育プログラムの正式な設立についてよく質問を受ける。

教育EGは 9つの地域すべてから専門家を集め、通訳者教育に関する支援と助言を行う。



クリスチャン ラスマン教授は、旧東ドイツの聾学校に在籍して以来、翻訳・通訳者として非公式・公式に活動してきた。ろう者学と通訳学の権威である。



欧州地域代表の目的は、WASLIとヨーロッパ手話通訳者との基本合意に沿って両者の協力関係を強化し、欧州の国会員を増やし、欧州内及び世界で専門知識を共有することである。

トレーニング EG

WASLIはまた、特定の目的のための、そして継続的な通訳者トレーニングに関する質問も受けている。

トレーニングEGはまた、特定事項に焦点を絞った短期トレーニングや、通訳者としての専門能力育成のため、9つの地域すべての専門家を集める

このEGによって、異なる地域のWASLIのために、言語的・文化的に適切なトレーニングを行い、助言できる専門家のリストを作成する。

ISAAB

IS認定諮問委員会の長であるキャロル・リー・アクアラインは引き続きWFD-WASLIの認定制度の見直しと、その運営を行う。

現在、募集が行われている。:

2023年12月22日

寄付について

年度末にWASLIへの寄付をお考えの方は 会計のジョヴァナまでご連絡を。

treasurer.wasli@gmail.com

ご寄付は随時受け付けています

ラテンアメリカ及びカリブ地域

ラウラ・アストラダは、コロンビアで、アルゼンチン手話通訳者協会 (AAILS) の創立メンバーである。彼女は2018年から2021年2021年から2023の2期にわたり、同協会の会長を務めた。通訳関連の公共政策の策定に13年間関わってきた実績がある。



クリスティアン・ラミレスは、コスタリカ出身で、現在は政府の機関である国立学習研究所に勤務していて、LESCO (コスタリカで最も普及している手話) について、コミュニケーションのためのカリキュラムや通訳プログラムの作成を担当している。

また、彼はろう者のコミュニティ組織と共同で、言語や通訳能力に関する公的証明にも携わっている。翻訳者、通訳者として18年の実績がある。

地域代表には、その地域で共通の課題を把握することで連携しての活動を強化し、会員組織の創設につなげ、ひいてはWASLIでのラテンアメリカ及びカリブ地域の動向をより可視化することが求められる。

北アメリカ地域

エドゥアルド・ダニエル・マヤ・オルテガは、メキシコ大統領官邸付きの手話通訳者である。彼と、他の北アメリカ代表は、前期よりの続投となる。



ロニス・バレラス (女性) は、20年以上の実績を持つ、ろう通訳者である。ネイティブのラテン/メキシコ系アメリカ人のルーツを持っており、国内外のろう者と盲ろう者のコミュニティに強固な人脈を持っている。

北アメリカ代表は、自国の通訳者組織と協同して、メキシコにおける通訳者組織設立の支援に重点的に取り組むことになる。また、地域のBIPOC (黒人、先住民、有色人種) や、ろう通訳者の支援にも携わることになる。

WASLI と ISO

Introduction

WASLIは、2020年より国際的なパートナーとして、国際標準化機構（ISO）の37番目の専門委員会（TC）である、言語及び専門用語のTC（ISO TC37）と密接な関係にある。そのため、必要なら、その委員会のワーキンググループに協力することができる。しかし、WASLIに議決権はない。ISO TC37は、5つの分科委員会から成り立っており、WASLIは、その中の翻訳、通訳及び関連技術の分科委員会（ISO/TC37/SC5）に関わっている。2023年のこの分科会は以下の6つのワーキンググループで構成された。

AHG 2 自動音声認識

TCG 用語調整

WG1 翻訳

WG2 通訳

WG3 通訳設備

WG4 通訳及び翻訳の教育と訓練プログラム

WASLIにも、独自のISO専門グループがあり (iso.eg.wasli@gmail.com)、これまでは、サミュエル・チュー氏が責任者だった。済州島でのWASLI大会で、WASLIの前事務局長のイサベル・ヘイエリック博士が引き継ぐことになった。イサベルは現在、この専門チームの業務の簡素化に務め、将来的な事業の拡大を視野に入れている。ご興味のある方は、以下もお読みください。

ISO 2023年次総会における WASLI

6月11日から16日まで、ISO TG37の年次総会が、ベルギーのブリュッセルでの欧州会議にて開催されました。イサベル・ヘイエリック博士は現地で、またホセ・エドニルソン・ゴメス・デ・ソウザ氏はオンラインで参加した。会期中に2人は、ワーキンググループからの手話通訳問題に関する要望に回答した。そして、積極的にWASLIが高度な技術を持つ

通訳者集団として果たせる役割を提示した。彼らはまた、デボラ・ラッセル博士（カナダの国家機関の代表者）、マヤ・ドゥ・ヴィット氏（オランダ国家機関の代表者）とマーク・スコフィールド氏（国際会議通訳者連盟（AIIC）とその手話通訳ネットワークの代表者）ら、手話通訳専門機関の代表者であり、ベテラン会員としてWASLIをけん引してきた通訳者たちからの提言も支持した。（写真参照）



WASLIは、TC37の導入セッションと本会議、及びTC37/SC5に出席しました。TC37/SC5の本会議ではその週のワーキンググループの職務について報告があった。国家機関に所属して、自国のISO事業の代表者になる人材を増やす必要があると強い呼びかけがなされた。

TC37/SC5の本会議の最終セッションには、欧州委員会において会議を開催することが他の6件の決議案とともに承認された。その一つが、会議の場における手話通訳環境の技術的条件について、ISO基準の草案を作成することである。閉会式には、ホセ・エドニルソン・ゴメス・デ・ソウザ・ジュニア氏とイザベル・ヘイエリック博士がWASLIから参加した。

WASLI代表出席

- TC 37/CAG (運営委員会) 日本工業規格委員会によるプレゼンテーションのために期間中1回開催。日本が推進する観光分野における翻訳・通訳サービスに関する提案についての発表があった。WASLIからホセ・エドニルソン・G・デ・S・ジュニア氏が出席。
- ISO/TC 37/SC 5/AHG 2 期間中1回開催。通訳の基準に照らし合わせて、音声からテキストへの変換に関するトピックが議論された。イザベル・ヘイリック博士がWASLI代表として出席。
- ISO/TC 37/SC 5/TCG 期間中2回開催。翻訳と通訳に関する専門用語について検討した。WASLIからイザベル・ヘイリック博士が出席。
- ISO/TC 37/SC 5/WG 2 期間中3回開催。コミュニティ通訳に関する話題、例えば経験時間や認定などについて議論した。また、場の状況、ISO 84056規格の改訂、特に「ビデオ ディスプレイ」を扱うセクションについても議論された。WASLI のホセ・エドニルソン G. de S. ジュニア氏が出席。WASLI の名誉会長であるデブラ・ラッセル博士は、このワーキンググループのプロジェクトリーダーを務めた。
- ISO/TC 37/SC 5/WG 3 近く退任する議長であるマルグリット・レリー氏は、連携パートナー、特にWASLIによる貢献の重要性について特別に言及した。WG3 は 期間中に4回(12時間)開催。WASLI 代表のイザベル・ヘイリック博士が出席。
- ISO/TC 37/SC 5/WG 4 総会と1回の作業委員会の計2回開催。このワーキンググループでは、CD 6253「通訳教育者および教育/訓練プログラムの要件」のテキストの調整について議論した。WASLI からホセ・エドニルソン G. de S. ジュニア氏が出席。

WASLI 及び ISO TC37: 今後

ISOの年次総会以来、WASLI はさまざまな分科会やワーキンググループの会員構成を見直し、ワーキンググループに積極的に参加し貢献できる連携パートナーであることを確認した。WG3では、次のような新しい作業パッケージの作成が承認された。

ISO 17651 同時通訳一通訳者の作業環境

パート 4: 手話通訳の要件と推奨事項

プロジェクトリーダーはデ・ウィット博士で、ヘイリック博士 (WASLI) とマーク・スコフィールド氏(AIIC)がプロジェクト編集者として提案された。

WG4 では、コミュニティ通訳のトレーニングプログラムの要件と推奨事項に関する文書についての新しい協議ラウンドが開始された。 WASLI ISO 専門家グループはこの文書に対してコメントを発表し、WG4 WASLI 代表の ホセ・エドニルソン・G・デ・S・ジュニア氏に伝えられる予定である

WASLI, ISO そしてあなた！

WASLI はまた、TC37/SC5 議長が発した次の呼びかけを繰り返したい。 ISO に関わる翻訳および通訳コミュニティの利益を代表する人材がもっと必要である。特に手話翻訳・通訳コミュニティの代表が。

どうすればよいか？

- まず、あなたの国にwww.iso.org/membersのリストにある国家標準化団体があるかどうかを確認し国家標準化団体である場合は、あなたの国のページをクリックすると連絡先の詳細が表示されるそこにメールを送り、国家標準化団体および ISO TC37/SC5 の活動への参加に興味があることを表明していただきたい。
- あなたの国に国家標準化団体がない場合は、iso.eg.wasli@gmail.com にメールを送り、WASLI ISO 専門家グループのメンバーになっていただきたい。

総会と大会の様子

